

2012賃金確定闘争 ～要求書を提出～

区長会と本格的な闘争に突入！



▲本部・地連・支部を貫く全組合員の総力で諸要求を実現しよう

10月22日の第2回中央委員会において、「2012賃金確定闘争に勝利するための秋季年末闘争方針」ならびに「2012年特別区人事委員会勧告後の要求」が確認されたことを踏まえ、24日に行われた平成24年度給与改定（第2回）団体交渉の場で「2012年度賃金確定に係る要求書」を区長会に提出し、2012賃金確定闘争の具体的な交渉に突入することとなりました。

10月10日の特別区人事委員会勧告後、わが組合は闘争開始宣言として第一波総決起集会を連合会館で開催し、翌週には第二波として各地連毎の総決起集会ならびにブロック幹事区長要請行動を展開、さらに卑劣な委託提案を撤回させるべく一組当局に対して座り込み要請行動を打ち抜いてきました。現在は、各支部による各区長要請行動と平行して、専門委員会交渉の場で具体的な協議を行っているところです。

2012賃金確定闘争はこれからが本番です。本部・地連・支部を貫く団結で組合員の総力を結集し、要求実現に向け全力で闘いましょう。

307名が結集！

10月12日、18時より、連合会館にて、2012秋季賃金確定闘争勝利！東京清掃労働組合第一波総決起集会が開催されました。10月10日に示された特別区人事委員会勧告は極めて厳しい内容で、人事・給与制度、任用制度のみならず、

納得いくまで全力で闘おう！ 第一波総決起集会

にやり場のない怒りを感じる。日頃培ってきた団結の力を結集して組織の総力を挙げて闘おう」との力強い挨拶がありました。

来賓として、自治労東京都本部から中条書記次長に

「年々引下げられる賃金に加え年金支給年齢の引上げや退職手当の削減など、将来設計が成り立たない状況

清掃とともに最後まで闘い抜く」と激励の挨拶をいただきました。また、退職者の庄司事務局長からは、「4年連続の引下げ勧告という厳しい情勢、さらに高齢期雇用の課題もあり、とりわけ若い世代には厳しい時代だが出来る限りの闘いで区長会を追い込んで欲しい」との励ましをいただきました。

続いて、染書記長より経過報告がされました。勧告後の区長会要請の際、西川区長会会長からは、勧告については「重く受け止めている」と表明されたこと。また、この間の確定闘争でくり返し要求している課題についてあらためて整理して交渉に臨むこと、さらに、高齢期雇用に関する事項や退職手当については国の動向

が不透明なことから、確定期以降も継続して協議を進めていくことが想定されるとの説明がされました。

次に、各地連代表から決意表明がされました。第一地連塚原事務局長からは、4年連続の引下げ勧告に対する怒り、また、公務員賃金の引下げは民間賃金にも反映し負のスパイラルに陥ることを許してはならないこと、第二地連金子議長からは、地連内2区で新規採用があり若い仲間ができた、青年層の生活と区民のライフラインである清掃事業を守る意味からも全力で闘うとの覚悟が表明されました。

第三地連増田議長からは、不当勧告と併せ、退職不補充、車付雇上、高齢期雇用など課題は山積しているが、自信と誇りを持って要求実現を目指すこと、第四地連山口事務局長からは、日々区民サービスの向上に汗を流す我々の努力を全く見ようとしない当局に對して強い怒りが訴えられ、第五地連早瀬議長からは、07年の給与引下げ以降の採用者の厳しい生活実態を踏まえ、誰もが安心して働ける職場を確保するため、高齢期雇用の課題と同時に同一労働同一賃金の確立も急務であるとの決意が述べられました。

一組総支部駒井副委員長からは、委託攻撃は東京清掃全体に掛けられた課題ととらえ、組織の圧倒的な力で一組当局を追い込んでいくとの決意、青年部の石川副部長からは、この先30年以上も働く立場から、青年

部79名全員が先頭に立って断固闘いぬくとの力強い決意が表明されたところです。

続いて、長妻青年部長から迫力あるシュプレヒコールがあげられ、顧問委員長より「2012賃金闘争をはじめとする秋期闘争を全組合員の総力で闘いぬく決議（案）」が提案され、満場一致の拍手で採択されました。最後に、吉田委員長

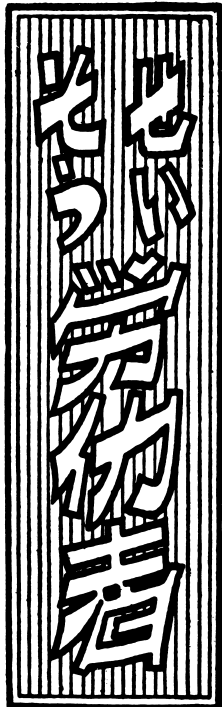


▲染書記長より今次確定の課題について報告



▲区長会に要求書を提出した（第2回団体交渉）

総団結で勝利しよう！



東京清掃
労働組合

千代田区飯田橋3-9-3
TEL (3237) 9995
1部20円

編集責任
長 幸司
教 宣 部
育 藤 幸

わが組合の綱領

- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

一組座り込み要請行動 当局は約束を守り、委託を撤回しろ！

10月15日、飯田橋本庁に

行動に立会いました。

がある。

て、東京清掃労働組合は、要請行動では、本部大和田副委員長、総支部藤川副委員長からの発言に続き、工場支部からは、目黒・渋谷・多摩川・世田谷・光が丘からの発言がありました。その後当局への白紙撤回要請を行いました。行動には、一組組合員の他、各区の組合員も参集し、総勢150人を超える集会となりました。

会場には、本部吉田委員長も駆けつけ、「一組にかげられた委託攻撃は、清掃全体の大きな問題である。団結して全力で取り組もう」と訴えられました。座り込み終了後、参加者全員が入札室に入り、一組総支部による一組当局への要請

た。発言の主な内容は、清掃工場の安全・安定な操業と、環境保護を最優先とした清掃事業の一貫し統一された運営を壊すようなことは許さない。労働者の労働条件を引き下げること、行政として行うべきではない。2009年時、運転業務の一部委託提案の際、妥結に至った約束を覆すことは許さない。公権力を伴う業務の民間への委託は問題

た。これに対し、一組大久保総務部長からは、我々に対して「なんとかご理解、ご協力を得られるよう、さらに踏み込んだ具体的な考え方の検討を、担当者に指示します」との回答がありました。

(一組担当 中央執行委員 内山健司)

▲一組当局は約束を守れ

▲提案の撤回に向けてガンバロウ

▲会場一杯に組合員が結集

▲組織の先頭に立ってガンバロウ

▲参加者全員で要請を行った

▲大和田副委員長から力強い激励

第一地連総決起集会 総力を結集し、団結を固め闘い抜く！

10月18日(木)、悪天候

た後の経過報告では森田現

の中、単組として給与改定を担うようになった06年以降初めて、新宿区において7支部約100名の仲間が結果し、第一地連総決起集会が開催された。

主催者を代表して瀬尾議長から「この集会を機に東京清掃全組合員の怒りを当局に押し知らせ、12賃金決定闘争に勝利していく」と挨拶を受け、本部を代表して額副委員長から「厳しい情勢に立ち向かい、組合員の努力が報われる給与・人事制度を確立するため、全組合員の総力を結集し団結を固め闘い抜いていく」と力強く挨拶を受けた。

要請団を全体の拍手で送った。中央執行委員 張替一茂

▲会場一杯に組合員が結集

▲組織の先頭に立ってガンバロウ

▲参加者全員で要請を行った

▲大和田副委員長から力強い激励

▲会場一杯に組合員が結集

▲組織の先頭に立ってガンバロウ

▲参加者全員で要請を行った

▲大和田副委員長から力強い激励

第二地連総決起集会 夢と希望を持てる職場を勝ち取る！

第二地連は、10月18日(木)

渡辺さんは区長会に「真剣

に文京区民センターで「2012賃金決定闘争勝利！第二地連総決起集会」を行いました。

司会の東海林事務局次長の挨拶で集会は始まりました。金子議長から地連代表の挨拶があり、本部大和田副委員長が「皆で一歩前に出る闘いを」との激励と勢報告をしてもらいました。

その後、各支部からの決意表明が行われました。北の川内容さんからは「委託化により職場のモチベーション維持も困難」と職場の問題が、台東の鈴木さんは「第三者機関としての役割を放棄した不当な勧告」と怒りをあらわにし、文京支部の

最後に地連青年部野口議長が「青年部は、この先30年にわたり働き続けていく。夢と希望と誇りを持って環境を築くにはこれ以上の賃金削減は許せない」と文京・台東の新しい仲間達と団結して闘うという強い決意を表明しました。

そして当局側が100名を越す組合員の待つ会場内に入り要請行動が始まりました。文京の緒方副議長が代表として要請文を読み上げた。

要請を受けた瀧副区長からは「持ち帰り成澤区長に伝えます。今後とも誠意を持って課題の早期解決に向けて、話し合っていく所存ですので、よろしくお願います」との回答をもらいました。要請が終わり、原田事務局長が集会決議案を読み上げ提案、全体の拍手で採択されました。集会の最後は金子議長の力強い団結ガンバロウで締めくくられました。(荒川区担当 中央執行委員 恵良伸介)

▲会場一杯に組合員が結集

▲組織の先頭に立ってガンバロウ

▲参加者全員で要請を行った

▲大和田副委員長から力強い激励

▲会場一杯に組合員が結集

▲組織の先頭に立ってガンバロウ

▲参加者全員で要請を行った

▲大和田副委員長から力強い激励

▲会場一杯に組合員が結集

▲組織の先頭に立ってガンバロウ

▲参加者全員で要請を行った

▲大和田副委員長から力強い激励

▲会場一杯に組合員が結集

▲組織の先頭に立ってガンバロウ

▲参加者全員で要請を行った

▲大和田副委員長から力強い激励

第三地連総決起集会

第三地連は団結して闘い抜く覚悟だ！

第三地連総決起集会は、10月17日（水）、世田谷区役所プライトホールにて、17支部132名の仲間が結集し行われました。

坂本組織部長の情勢報告で集会は始まりました。地連を代表して増田議長より「4年連続の引下げ勧告が示され、これでは住民サービスの低下を招くことになる。第三地連は団結し闘い抜く覚悟である」との決意が表明され、続いて大和田副中央執行委員長からは、退職手当の一方的な削減は許さない。また高い水準の再任用賃金を獲得しなければならぬ」との激励と挨拶を受けました。

続いて、収集職場を代表して玉川支部の赤城さんから「23年4月に世田谷区に採用されたが、アルバイトの賃金と変わりがなく、病気の母と共に暮らし、この給料ではやっていけない」との切実な声を、連搬職場代表砧支部の橋本さんは「本当に生活が厳しい、収集は新規採用があるが、運転は気配もない、今後の職場が心配だ」、さらに世田谷工場支部の中村さんか

らも「給料は下がり続ける一方、職場は委託が進み疲弊している。このままでは住民の安全が守れない」と各職場からの要請を行ったところでした。

それらに対し、当局側を代表して板垣副区長から「要請内容は区長、また関係機関に伝える。マイナス勧告は尊重しなければならぬ」との発言がありました。

要請内容を集会に報告し、鈴木事務局長が集会決議案を読み上げて提案、神崎副議長のシュプレヒコール、最後に増田議長の力強い団結カンパロウで集会は成功裏に締めくくられました。

（目黒区担当中央執行委員 佐久間武）



▲増田議長を先頭に団結して闘おう



▲会場は組合員の熱気で溢れた

第四地連総決起集会

課題は山積しているが、全力で闘おう！

10月19日、豊島区生活産業プラザ地下ホールに於いて東京清掃労働組合第四地連は「2012賃金確定闘争第二波総決起集会」を開催しました。地連内各支部から93名の組合員が結集し、第四地連山口事務局長の司会で集会を開始しました。嶋根議長の挨拶を受け、その後、要請団のメンバーとして本部より染書記長、地連代表として嶋根議長、一組総支部代表の豊島工場支部武藤委員長、各区の職場から撮影の1名を含む6名の全9名を紹介し、全体の力強い拍手で送り出しました。

要請が終了し、要請団の染書記長より報告を受けました。高野区長が公務のため齋藤総務部長が要請を受ける間、集会では本部野崎賃金部長より、今次賃金確定闘争の主な課題と経過の報告を受けました。確定闘争の主な課題としては勧告の取扱いの他、切替調整号数や勤勉手当の成績率、平成25年度4月からの年金と雇用の接続に係る「高齢期の雇用問題」、今後の協和として上がってくる課題として東京都で協議中の住宅手当、国家公務員の関連として退職手当の課題があり、齋藤副議長からの決議案を全体で確認、最後に嶋根議長の力強い団結カンパロウで集会を終了しました。

（中野区担当中央執行委員 洞下一浩）



▲嶋根議長を中心に団結



▲最後の最後まで闘うぞ

第五地連総決起集会

賃金引下げ、委託提案は言語道断だ！

10月18日（木）、2012賃金確定闘争勝利！東京清掃労働組合第五地連総決起集会が足立区生涯学習センターにおいて10支部189名の参加により開催された。冒頭、根本副議長より12賃金確定闘争勝利に向けて、力強い挨拶を受け、続いて、本部を代表して斉藤教宣部長より挨拶を兼ねた今確定闘争の経過説明を受け、続いて各区・一組・青年部の順でそれぞれ決意表明を行い、「勧告が実施されれば、4年連続月例給削減となり、我々の生活・権利を脅かす重大な内容であることから、到底受け入れられない。いまこそ全組合員の総力を挙げて闘おう」等の決意が述べられた。葛飾工場支部の藤川委員長からは「アウトソーシング等に関わり、断固反対・撤回を求め、強い意志で決意表明された。集合会後、染書記長より要請団報告として「われわれの職場実態を全く還りたくない賃金引き下げや民間委託攻撃・アウトソーシングなどを平気で行うのは言語道断である」と怒りを現し集会参加者に訴えた。

最後に「12賃金確定闘争をストライキで闘い抜く決意（案）」を集会参加者全員で確認し、早瀬議長の団結カンパロウで集会を閉会した。（墨田区担当 中央執行委員 遠田寛樹）



▲組合員の声が響き渡った



▲青年部が先頭に立って頑張るぞ

いま 清掃事業は… 足立区

組合員を無視した当局対応に怒りを！

・小型プレスS66台で後半9台休車(内33台車付雇上)。不燃収集は、新小型ダンプ6台・軽小型ダンプ10台の稼働となっている。また、動物及び狭小路地対策として、軽小型四輪8台(内4台車付雇上)・軽小型ダンプ6台(内5台車付雇上)も稼働している。

車付雇上車は2008年の導入以降、年々拡大され5年目となる今年現在、可燃収集で33台も導入され、正規職員が乗る収集車両からの割合は、前半作業で50%、後半作業に至っては56%・8%となっており、作業員の接遇や収集状況について区民からの苦情も多く寄せられている。

こうした状況下において、これ以上の車付雇上工

リア拡大は無理がある。安定的な清掃事業の運営を考えた場合、早期に「退職不補充方針」を撤回させ車付雇上割合を縮小することが求められる。

また、足立区では、昨年度より統括技能長は不在となっており、選考は実施されるものの受験者がいない状況が2年間続いている。

原因は他区でも同様であるが、07賃金確定における9%削減の給料表改定が大きく影響している。統括技能長にふさわしい職員は、年齢的に昇任しても給料が上から責任のみ押し掛ける構造となっているためである。執行課もこの現状を危惧しているため、この問題について足立区の考えを部長会等の然るべき場所が発言するように求めている。清掃事務所を円滑に回すのは、1年2年で異動を繰り返す管理職や係長ではなく、収集や運転職場からの叩き上げの職員がふさわしいことは言うまでもない。

足立区はサーマルリサイクル導入時、可燃収集をABCエリア方式からAB方式に変更した。理由は「サーマルリサイクルでは排出量が増大するため、週2回の可燃ごみ収集では集積所を提供していただいている



▲23区で初めて新小ダを導入



▲07年には区役所前決起集会を実施

区民から理解が得られない」というものであった。

当時支部としては「人員機材が多く必要になる」と指摘したが、当局は「人員機材については当局の責任において実施する」とし、前述の通り、車付雇上増大理由の一つとなっている。

また、これは年末年始作業計画に大きく影響している。

年始に曜日どおり収集するために12月31日も可燃収集をせざるを得ないこととなり、今年度については更に1月3日から可燃収集を開始したいという考えを執行課は当初持っていた。これに対し支部としてはこの間、繁忙手当の復活、官庁休館日の週休日の買い上げや振替等を要望してきたがことごとく却下されてきた。

組合員は、合理化の攻撃にさらされながらも、区民の衛生的で安全な暮らしを守るため日々努力している。組合員をないがしろにしたこれ以上の作業計画は許されない。決起集会も視野に入れながら足立支部は2013年度作業計画及び年末年始計画交渉に全組合員の総力で闘う考えである。

(足立区担当
中央執行委員 中村正明)

ZENROSAI NEWS 保障の点検シリーズ第3弾(11月)

火災から風水害までワイドな保障

火災共済

風水害等給付金付火災共済

自然災害から盗難までワイドな保障

自然災害共済

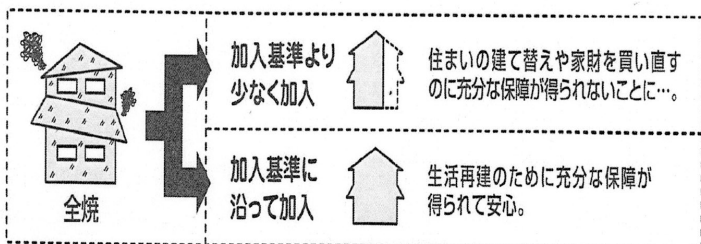
自然災害共済

加入基準(必要保障額)とは

元通りの生活を再建させるのにいくらかかるか、その目安となるのが「加入基準」です。

加入基準は、住宅の構造や広さはもちろん、所在地や家族の人数、世帯主の年齢等によっても変わってきます。全労済では、物価の変動に合わせて加入基準の見直しを行っています。

加入基準どおりにご加入いただくと、万一の際も安心です。



まさか! ?の前に
保障の点検をしましょう!



防災には3つのポイントがあります。

災害前
備える災害時
守る災害後
再建する

保障のことなら

全労済 東京都本部

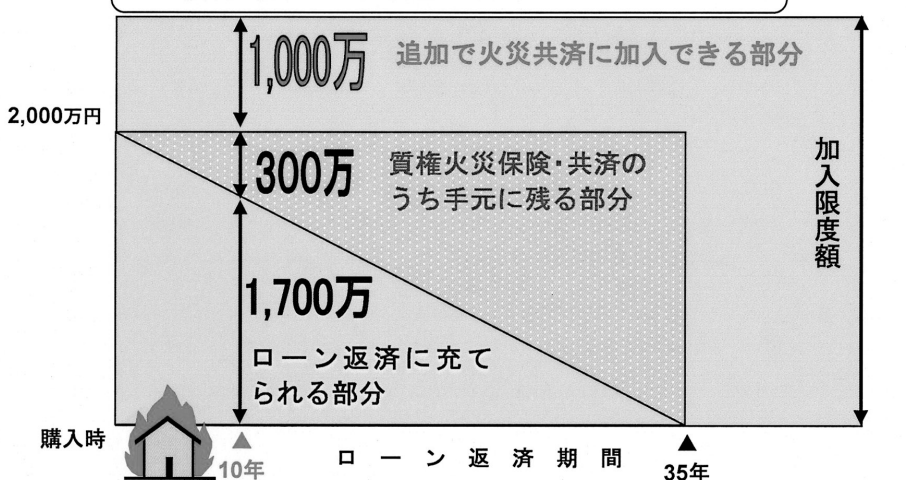
(東京労働者共済生活協同組合)
全国労働者共済生活協同組合連合会 〒160-0023 新宿区西新宿7-20-8

(1312B043)

住宅ローンをご利用の方

例:金融機関から融資を受けている場合

- ローン残高 1,700 万円(借入 2,000 万円)※新価特約を付帯
- 全労済基準 加入限度額:住宅 3,000 万円



「保障の点検シリーズ」を通じ、組合員とそのご家族の皆さまが、万一の火災や地震等に対する理解や準備状況について点検いただくことで、一人一人が「見直しの気づき」を持っていただき、「(災害前に)備える」・「(災害時に)守る」・「(災害後に)生活再建する」に対する、具体的な実践を進めましょう!

ひとこと

先日、夕方の混雑時にバスに乗っていると、高齢のご婦人が「なんで進まないんですか?」「ここで降りしてもらえませんか?」とずいぶんイライラしている様子でした。

また、帰日も30分遅れたのですが、私の前にいた方々は、一人ひとり運転手さんに文句を言って乗り込んでいました。しかしバスなどの交通機関が、道路事情によって遅れてしまうのはやむを得ないものです。運転手さんが悪いわけではないのですよ。運転手さんもお客さんの対応で、グツと堪えて大変だなど思いました。

私達も収集現場で区民に「今日はいつてもより早いね。」「今日はいつてもより遅いわね。」とよく言われます。集積所に時刻表はなかったと思うのですが。あなた達、弱い立場の人ばかりに文句を言うのではなく、もっと言わなければならぬ人達がいいますよ。あなた達が選挙で選んだ人達。それこそ、なにも変わりませんよ、ちゃんと変わらないと。

(賃金部 S・E)